

(3) 都市経済コースの履修系統図

科目区分別の学修目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1 Semester	第2 Semester	第3 Semester	第4 Semester	第5 Semester	第6 Semester	第7 Semester	第8 Semester
演習関連 基礎演習では、大学生活に必要な知識と技能、専門学修に必要な基礎学力を養得することができる。演習Ⅰ・Ⅱでは、経済学を中心とする知識や技能、思考法等を養得するとともに、自分の興味・関心、将来の進路志向に合わせてテーマを設定し、最終的に卒業研究としてまとめていくことができる。	基礎演習A	基礎演習B	演習ⅠA	演習ⅠB	演習ⅡA	演習ⅡB	演習ⅢA (必修)	演習ⅢB (必修) 卒業論文
学部基礎科目 経済および経済学の基礎と、大学生として必要な情報スキル・知識を学修して、関連する基礎知識の修得と諸問題への関心を高めることができる。	経済学基礎 (必修) 情報リテラシーⅠ	現代経済事情 情報リテラシーⅡ						
学部共通科目 経済学に関する基礎科目の学修を通して、専門学修を進めていく上で必要となる基本的な知識や技能、思考法を修得することができる。	14単位以上選択必修：第1から第4セメスターのあいだに履修することが望ましい 1年次から：経済史Ⅰ → 経済史Ⅱ 1年次から： ミクロ経済学Ⅰ → ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅰ → マクロ経済学Ⅱ 経済統計学Ⅰ → 経済統計学Ⅱ 経済数学Ⅰ → 経済数学Ⅱ 2年次から： ミクロ経済学Ⅱ → ミクロ経済学Ⅲ マクロ経済学Ⅱ → マクロ経済学Ⅲ 社会経済学Ⅰ → 社会経済学Ⅱ 3年次から： 経済学Ⅰ → 経済学Ⅱ 社会思想							
コース基本科目 自分の興味・関心、将来の志望進路に合わせて選択されたコース学修において必要となる知識や技能、思考法を修得することができる。	16単位以上選択必修：第3から第8セメスターのあいだに履修 2年次から： 日本経済史Ⅰ → 日本経済史Ⅱ 日本経済論Ⅰ → 日本経済論Ⅱ 財政学 (財政と制度) → 財政学 (経費と租税) 環境経済論 農業経済論 地域経済 地域生活と経済 社会政策 地域金融論 社会保障 労働経済学 地域フィールドスタディ 3年次から： 経済地理Ⅰ → 経済地理Ⅱ 都市経済論Ⅰ → 都市経済論Ⅱ 地方財政論							
その他の専門科目 (特にコースに関連する科目のみ) コース学修の応用展開を図るために必要となる知識や技能、思考法を修得することができる。	卒業には専門教育科目から80単位以上の修得が必要である。 1年次から： 経済学部生のための経営学入門 経済学部生のための法学入門 2年次から： 金融論Ⅰ → 金融論Ⅱ 欧米経済史 産業組織論 (独占) → 産業組織論 (寡占と競争) 公務員特別演習ⅠA → 公務員特別演習ⅠB 国際経済学 開発経済学 アジア経済概論 アメリカ経済論 初級簿記 世界経済論 経済政策論 中国経済論 ヨーロッパ経済論 3年次から： 交通概論 資源・エネルギー経済論 国際金融論 公共経済論 計量経済学Ⅰ → 計量経済学Ⅱ 公務員特別演習ⅡA → 公務員特別演習ⅡB 経営管理論Ⅰ → 経営管理論Ⅱ 近代経営史 4年次から： 公務員特別演習ⅢA							
外国語科目 日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力を修得することができる。	外国語 (必修) → 外国語 (必修) いずれか1種類の外国語4単位必修							
共通教育科目 幅広い教養及び国際感覚を修得することができる。	キャリア開発A → キャリア開発B → キャリアデザイン演習A → キャリアデザイン演習B → キャリア演習A → キャリア演習B 卒業には共通教育科目から、いずれか1種類の外国語4単位を含む30単位以上の修得が必要である。							
目標修得単位数 学修目標 (学部共通)	18~24	18~24	18~24	18~24	18~24	18~24	8~24	8~24
学修目標 (コース別)	1年次の学修目標 (学部共通) ▷ 経済学に関する基礎的知識を修得する。 ▷ 読み書きスキル、ICTスキル、分析しまとめ上げる力、グループワーク力、プレゼンテーション力といった汎用的技能を身につけるトレーニングをする。 ▷ 外国語能力を伸ばす。 ▷ 興味・関心に応じて、人文、社会、自然等の教養分野の知識を広める。 ▷ キャリアに関する意識を持つ。 ▷ 自分の興味・関心、将来の進路志向に適したコース、演習を選択するために、コース、演習内容について理解する。		2年次の学修目標 (学部共通) ▷ 経済学に関する専門的知識を拡充させる。 ▷ 実践的・能動的な取り組みを通して、汎用的技能のさらなる向上に努める。さらに、課題を見出す力をつける。 ▷ キャリアに関する意識を高める。 2年次の学修目標 (都市経済コース) ▷ コース基本科目を中心に履修する。 ▷ 地域社会のしくみやそれが有する諸問題を地域経済関連科目の履修を通して理解する。 ▷ 人々の生活に関わる諸問題を社会政策関連科目の履修を通して理解する。 ▷ 公務員志望者は、公務員特別演習の履修を通して、公務労働の意義を認識し、公務員に求められる基礎的な素養を身につける。		3年次の学修目標 (学部共通) ▷ 卒業研究を意識した専攻分野の決定と研究に必要な情報を獲得する。 ▷ 実践的・能動的な取り組みをさらに重ねて、課題解決能力を高める。 ▷ キャリアに関する意識を具体化し行動する。 ▷ 演習Ⅱの学修を通じて、「実学としての経済学」を修得する。 3年次の学修目標 (都市経済コース) ▷ 都市経済論Ⅰ・Ⅱの履修を通して、現代の都市が有する諸問題を深く理解し、その解決策を探る。 ▷ 主として現代の都市や人々の生活の問題を意識して、卒業研究のテーマを決定する。 ▷ 公務員志望者は、公務員特別演習の履修を通して、地域・自治体を研究し、問題を把握し、その解決策を探る。		4年次の学修目標 (学部共通) ▷ 卒業研究を推進させて、卒業論文を完成させる。 ▷ 社会人としての心得を修得する。 ▷ 進路に関連する専門知識を拡充する。 4年次の学修目標 (都市経済コース) ▷ 先行研究の検討を通して、現代の都市や人々の生活に関連する課題を明確化し、卒業論文を完成させる。 ▷ 公務員志望者は、公務員特別演習の履修を通して、地域・自治体の諸問題は何かを、明確に表現できるようにする。	

経済学部経済学科教育課程

経済学部経済学科教育課程